



校報 あずまね

<https://shiwa3.chu.jp>

時同啄啐

文責 佐藤 智一

「春のあずまねカフェ」を終えて

「春のあずまねカフェ」に参加した生徒たちの感想は、既に学校ウェブサイトの 6 月 14 日の投稿にアップしていますが、ゲスト・ティーチャーの皆さんからも心温まる感想とメッセージをいただいたので、ここに紹介します。



高橋酒造店(堀の井) 杜氏 高橋 誠さん



普段中学生と話す機会がないので、とても新鮮で楽しかった。もっと聞きたかったし、もっと話したかったというのが正直な感想です。

学校の勉強は社会でいろいろな仕事をしていくための基礎となるものです。将来悔いが残らないよう、一生懸命勉強してほしいと思います。人生は、良くも悪くも予想できないことの連続です。どんなことがあってもいいように一生懸命努力しておきましょう。

廣喜酒造店 杜氏 小野裕美さん



子供たちがちゃんと自分たちの住むところの素晴らしいところを知っていて、誇りに思っていることを嬉しく思いました。今回、地元の伝統技術(文化)でもある“酒造りの仕事”の存在を知ってもらえて良かったです。

水が美味しい・米が美味しいこの地域は生きる上でとても魅力的なところです。これからもこの素晴らしい地域がずっと続くように、地元を知って、たくさんの人に自信をもって発信して行ってほしいなと思います。

農業 細川大輔さん



自分の子供以外の生徒達と話す機会はなかなかないので若干緊張しましたが、生徒達が活発でとても良い場でした。参考にしたい質問、意見がありメモをさせていただきました。今後の仕事に生かして行きたいと思います。

将来自分になりたい職業が決まっている子もいればまだわからないという子もいると思いますが、皆さんはたくさんの可能性を秘めていると思います。後から思えば学習面、部活動当においても無駄と思えることはないの、色々な事に興味を持ち、しっかり取り組んでもらえれば幸いです。

JAいわて中央 米穀課 村上博範さん



生徒と接する機会を設けさせていただき貴重な体験をすることができました。「毎朝お米を食べていますか」の質問に、生徒たちは「たくさん食べている」と答えてくれました。また、家の農作業を手伝っているようで、感心しました。なかでも「将来は米農家になりたい」と言っていた生徒もいて、頼もしく感じています。

中学生は元気が一番。たくさんお米を食べて、勉強や部活を頑張りましょう。また、お家のお仕事のお手伝いを積極的にやりましょう！

紫波町商工観光課 須川翔太さん



中学生のリアルな話が聞けてとても有意義でした。自分の子供も来年から中学校に入学するので、楽しみになりました。生徒にとっても大人にとっても、意味のある授業だと思いました。

地元のことを深く学んで地域のことを考えること、視野を広げて刺激を受けることのどちらも大切にして欲しいです。

あづま幼稚園保育士 小原佳代子さん



初めは少しでもお役に立ちたいという気持ちで参加したのですが、逆にこちらの方が学ぶことが多く、「仲間に入れてもらえた」という感覚で楽しく参加させていただきました。「今楽しんでいることは？」という問いに「友達とおしゃべりすること」と答えた生徒さんが多く、p4cの効果もあるのではないかと思います。

みなさんとお話ができとても楽しかったです。コロナ禍で「楽しいことは我慢」の日々が続いていますが、そんなことはありません！これから楽しいことがたくさんありますよ！自分の好きなこと、得意なことを活かして充実した日々を過ごしてくださいね！引き続き応援しています。

百寿の郷 介護士 トール・ウネンバトさん



生徒たちの顔を見ていろいろ話ができ嬉しいです。モンゴルの学校にはない授業でした。生徒たちの将来と人生のためのいい授業だと思いました。

生徒の皆さん、本当にありがとうございます。日本に来てから出来た一番いい思い出の一つかなと思っています。

JAシンセホール 矢巾葬祭ディレクター 北條徹弥さん



中学生と話す機会など普段ない為ので、新鮮な体験をさせていただきました。一人ずつの質問や意見や夢などを聞くことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。

みなさんの夢や希望が叶うことを信じておりますし、心から応援しています。

農業経営 吉田辰巳さん



今の中学生の素直な気持ちを直接聴けた事が大変嬉しかった。将来の夢を聞いて、歯科衛生士、看護師、救急救命士、スポーツインストラクターなど、夢を持って頑張っている人もいます。自分の中学生の頃を考えると「すごいなあ」と思いました。夢がある人・探している人・いろいろやってみてほしいな!!と思います。これからの活躍がとても楽しみです。今回のあずまねカフェのおかげで、私自身も初心にかえり、仕事に生活に励めそうです。

将来の仕事は「やりたいこと」を楽しくできるように頑張らしましょう！やろうと思えば何でもできます。出来ない理由を作るのはいつも自分です。本当にやりたければ決して諦めないこと!!皆さんの将来の活躍を楽しみにしています!!(紫波で農業したいときは教えてくださいね。)

盛岡広域森林組合東部事業所 高橋久祐さん



林業(森林組合)業界について、生徒の皆さんへ伝える機会をいただけたことに感謝しています。「きのこ」というキーワードの背景にある豊かな森林資源について、生徒の皆さんからたくさん質問をもらい、どんな仕事でも楽しむ気持ちが大切だと伝えることが出来たと感じています。機会がありましたら、また参加したいです。

森林に携わる仕事の一つとして森林組合を紹介したのですが、他にも様々な仕事があり、林業行政の公務員(森林官など)、バイオマス発電所運営、工務店や住宅メーカー、国立公園や都市公園の管理者、そして自然学校運営等、森林・林業業界は、SDGsに興味がある人材を大募集中です。

岩手県北家畜保健衛生所 獣医 熊谷芳浩さん



特別授業に参加できて本当に良かったです。中学生が先生や親御さん以外の大人と会話することは、とても良い取組だと感じました。年代は異なりますが、三中で学んだり地域で活躍したりしている大人と接することにより、少しでも中学生の学びに繋がれば幸いです。

人生には色々なことがあります。失敗を恐れず、色々なことにチャレンジし続けて下さい。努力は裏切りません。

紫波町役場総務課 高岡 聖さん



生徒がしっかりと対話できることに驚きました。相手の話を聞いてそのことに質問をするというのは、簡単なことのように思えて実は大人でもできないことです。仕事の話をする事で改めて気付かされる点もあり、自分にとって貴重な機会になりました。

世の中にはまだまだたくさんの仕事がありますので、ゲスト・ティーチャーから聞いた話をきっかけにして、いろんな分野の仕事に目を向けてみてください。三中OBとして皆さんの活躍を陰ながら応援しています。

虹の保育園 副主任保育士 後藤 力さん



中学生と話せる機会をいただきありがとうございました。皆さんの三中への愛が感じられ、楽しかったです。

紫波町は素晴らしい町です。誇りを持ってください。将来やりたいことは、これから出会えるかもしれません。いろんなことにチャレンジしながら、様々な可能性を広げてください。

紫波町図書館 館長 藤尾智子さん



生徒たちが前向きで明るくて楽しく話せたので、つい話過ぎました。熱心に聞いてくれる中学生に自分を話すことで、自分の勉強になりました。この授業は「仕事を通じて生き方を考えること」なのですね。

これから様々なことがあるかと思います。社会のことに疑問を持ったり、生き方に迷ったりしたら、図書館を訪ねてみてください。きっと、ヒントに出会えます。

今後に向けたご意見(まとめ)

- ☆ もっとたくさんのグループと話してみたかった。グループリーダーの発表は後から教室で行ってもよいと思います。
- ☆ 子供たちが日常生活では知ることのできない職業があることを知る、また、どんな思いで大人が仕事をしているのかを知れることは、とても素晴らしいキャリア教育の場だと思いました。紫波の魅力を再確認できる素敵な事業だと思えます。
- ☆ 生徒にとっても大人にとっても、意味のある事業だと思います。今後も継続するようお願いいたします。
- ☆ コロナ禍で職業体験が難しくなってしまった中で、とても良い企画だと感じました。引き続き生徒のために継続して欲しいです。
- ☆ 60周年の特別授業と聞いて身構えていましたが、実際に終えてみるとあまり負担感もなく授業に参加させていただきました。これなら今後継続して実施していけるのではないかと感じました。
- ☆ 一人の講演を聴くよりも、複数名とディスカッションできる方が、参加者は主体的に学べて良いと思います。今後も是非続けていただきたいです。
- ☆ 働いている人の話を聞くのは、仕事のイメージが広がると思うので、とても良いことだと思います。地元で働く飲食店員や看護師など、もう少し身近な職種の方を招いても良いのではないのでしょうか。
- ☆ 他のゲストティーチャーの話も興味深かった。ゲスト同士の交流もあると、今後が楽しくなりそうです。

秋のあずまねカフェでも大切にしたいこと

子どもは大人の真剣なメッセージを待っているし、また十分に受け止める感受性もあります。(手塚治虫)

子どもと視線を同じにして対等に話をして下さい。大人は皆、上から物を言い過ぎます。(瀬戸内寂聴)